



コロナ禍で身体を動かす機会を持ちましょう！

私は今、当法人で今年度予定されている「実践報告会」に向けて集団体操に力を入れております。私たちショートステイでは、午後三十分間、職員が担当となり体操を行っていますが、私としては流れ作業のように感じていました。そのため、利用者様は勿論ですが、職員も心から楽しく行えるようになりたいと思い、発表テーマにしました。

そこでまずは体操の種類を増やす事から始め、歌を入れた体操や、タオルとかペットボトルを利用する体操を取り入れました。すると、車椅子に長時間座っているのも大変な方でも、体操を頑張つてやりたいという気持ちになつてくださり、毎日参加してくれるようになりました。

現在コロナの影響で外に出る機会が減っています。その代わりに、体操に積極的に参加していただき、少しでも身体を動かす機会になる様、これからも工夫していきたいと思えます。

二階職員 渡邊 恵梨

9月号

2020年9月1日
発行 長上 苑
ショートステイ
浜松市東区中田町
584
☎ (053) 411-0011
NO. 172

熱中症



今年の夏は長梅雨の影響で七月は意外と涼しく過ごせましたが、明けたと同時に気温が一挙に上昇し、お盆の頃には浜松の中心街で四十一度の国内最高気温にまで上昇しました。これは太平洋高気圧とチベット高気圧が重なっているところに、西からのフェーン現象が重なったからだそうです。

今年の夏は、いつもと違う夏でした。それは新型コロナウイルス感染症対策で、常時マスクをしなければならぬからです。マスクをしていると口の渴きを感じにくいそうで、知らず知らずのうちに水分不足になっている事もあるそうです。そうでなくても、お年寄りにはトイレが近くなることを気にして水分を遠慮される方がおられます。そのため、今年も数名の方が熱中症のような症状を訴え、当苑に緊急入苑されました。

当苑ではそのようなケースでも随時対応することで、地域のセーフティネットとしての役割を担っていききたいと思えます。

ウェブが主流に



新型コロナウイルス感染拡大の収束が見えない中、今まで対面で行ってきた事全てがダメになり、人と人とが距離を置かなければならなくなりました。当苑でも、職員が研鑽研修を重ねるために、内部研修は毎月、また、年に一度はなるべく外部の研修に参加できるように計画してきました。ところが内部は勿論、外部研修についても軒並み中止となり、学びの場が無くなってしまいました。

そんな中、世間ではウェブを使つての研修や会議が主流となつてきております。当苑でも遅ればせながらそれに合わせて設備を構築しつつあります。これらについては、「新しい生活様式」に合わせて、受け入れていかなければならない事だと、施設としては考えております。

イベントのお知らせ 令和二年九月

- ギターボラ 五日
- マンドリンボラ 十日
- 喫茶開店日 十四・二十八日
- 音楽療法 十八・二十七日
- 手作りおやつ 二十三日

浜松市内において新型コロナウイルスのクラスター感染が発生した頃より、当苑では面会や外出レクなど中止してきました。そうした中で、八月下旬になり、新規感染者はゼロになることはありませんが、だいぶ落ち着いて来たと思っております。

そこで、九月よりそれらの制限を解除させていただきたいと思えます。今後も状況を見て同様の措置を講じる可能性はありますが、約一か月半に渡つてご不便をおかけしたことで、大変申し訳ありませんでした。なお、外出レクの再開は十月からとさせていただきます。